



## 静岡 DWAT 訓練報告 浜松市福祉避難所開設訓練

- 日程：令和4年7月15日（金）13：00～15：00
- 会場：医療法人好生会 はまかぜ（浜松市南区）
- 参加登録員：聖隷ケアプランセンター浅田 牧野 光子 氏  
支援センターわかぎ 鈴木 圭子 氏
- 参加者：防災WGメンバー、浜松市、地元自治会など 約30名
- 内容：指定避難所への避難から、福祉避難所の開設・受入れまでの流れを、場面ごとに分けて訓練し、それぞれの場面について気づきを共有する

### 【訓練の様子と参加者からの意見】

- ① 指定避難所での受付
  - ・受付での記入は時間がかかり、受付が混雑する。
  - ・浜松市が避難行動要支援者に配布しているあんしん情報キットを持参してもらえると、緊急連絡先や持病などが素早く把握できる
- ② 福祉避難所対象者の選定（トリアージ）
  - ・判断基準が用意されていたが、一般住民では難しく、専門職の補助があると心強い
- ③ 福祉避難所開設のための調整（浜松市⇔福祉避難所指定施設）
  - ・収容能力を超えた受入れを防ぐため、福祉避難所となる施設側が的確に状況を伝える力を身につける必要がある
- ④ 福祉避難所への移送
  - ・短距離の移送支援に用いる JINRIKI を実演した。簡単に扱えて道路状況が悪くても使用できるのはよいが、金額面と長距離移動時の負担が課題として挙げられた。
  - ・一次避難所である新津中からはまかぜまで3kmあり、車両が使えない場合徒歩で40分かかる。どのように移送するのか、また、誰が移送するのか。
- ⑤ 福祉避難所の運営（受入れ者のアセスメント等）
  - ・自主防のみなさんに段ボールベッドの組立てや寝心地を体験していただいた。
  - ・一般避難所で既に聞いたことを、福祉避難所で重複して聞いてしまうことを防ぎたい。

### 【その他】

- ・静岡 DWAT が応急期の支援であり発災直後の活動が難しいことは分かるが、避難所立ち上げ時や避難者受入れ時に支援に入ってくると心強いという意見があった。
- ・一般避難所であれば周りの地域住民が顔見知りであったり、気づいて手を貸してくれたりすることで得られる支援が受けられなくなってしまう（共助を妨げる）可能性が指摘された。
- ・高齢者は高齢者施設、障害者は障害者施設と棲み分けると、障害のある方の受け入れ先が圧倒的に足りないという課題がある。

